

平成27年度 地域ケアプラザ事業実績評価（鶴見区）

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
潮田地域 ケアプラザ	(福) 横浜市 社会福祉協議会	A	<p><b>(地域ケアプラザ部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットや事故については、報告書に記入して全員で供覧するようにしています。また、その日あったことは、夕方の終業ミーティングの際に共有するようにしています。</li> </ul> <p><b>(地域活動・交流部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体向けに貸館利用の手引きを新たに作成し、会場利用団体交流会で説明を行い、配布しています。</li> </ul> <p><b>(地域包括支援センター部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区の社会福祉士連絡会のサポートネットの中心メンバーとして活躍しました。地区内のエンディングノート講座を積極的に開催しており、ノートが地域内で広がりを見せています。また、定期的に消費者被害防止講座を行い普及啓発に取り組んでいます。</li> </ul>
矢向地域 ケアプラザ	(福) 横浜市 福祉サービス協会	S	<p><b>(地域ケアプラザ部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨコハマ市民まち普請事業をきっかけに、学校との連携が密になり、コミハなど新しいネットワーク構築を進めました。</li> </ul> <p><b>(地域活動・交流部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間あいさつ運動の一環として「矢向小学校のバンダナ見守り運動」「綿花の一鉢運動」等、あいねっと推進委員会等と連携しながらケアプラザがしっかりと調整し、取組を進めました。</li> </ul> <p><b>(地域包括支援センター部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7町内会ごとに民生委員・ケアマネジャー・包括が集まり、お互いの持っている情報をマップに落とし作業を実施しました。その結果、顔の見える関係を築くことができ、お互いの活動に役立つ情報が得られるという良い成果をあげました。</li> <li>・居宅介護支援事業所連絡会の開催による支援がほぼ毎月行われています。総合事業説明のためにケアマネジャーとの同行訪問など丁寧な個別支援もされています。また、総合事業のチェックリストモデル実施ケアプラザとして、訪問型サービス C の導入を調整するなど積極的に取り組んでいます。</li> </ul>
寺尾地域 ケアプラザ	(福) 横浜市 社会福祉協議会	A	<p><b>(地域ケアプラザ部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馬場地域ケアプラザ開所に伴うエリア再編に対し、地域ニーズにあわせ、東寺尾及び馬場地域ケアプラザ、寺尾地区センターとしっかりと連携し対応しました。</li> </ul> <p><b>(地域活動・交流部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会町内会と協力して取り組んでいる「安心ホルダー」（3つの町会で実施、約 100 名登録。4町会で準備中）で高齢者見守りの強化を進めています。</li> </ul> <p><b>(地域包括支援センター部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が認知症に対して関心が高いことを把握しており、サポーター養成講座を積極的に開催しました。認知症カフェの立ち上げに向けた取組やキャラバンメイトの発掘も進んでいます。</li> <li>・民生委員とケアマネジャーの連絡会において、民生委員の訪問時に気になった独居高齢者をマップに落とし確認作業を実施しました。人材育成の観点で介護予防体操の指導者研修会を継続し、講師も増加しています。</li> </ul>

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
東寺尾地域 ケアプラザ	(福) 若竹大寿会	A	<p><b>(地域活動・交流部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイディア性の高い事業を企画しケアプラザ主導で事業を展開しました。自然のもとで行う事業に注力し、流しそめんなどを新たな行事を企画しました。普段あまりケアプラザを利用しない家族層を取り込むことができました。</li> <li>・ボランティアを前面に出さず様々な事業を通じて自然と担い手となるよう意識して、工夫を続けています。ボランティア登録はしていないが、ボランティア活動をしている人が増えてきており、良い傾向です。</li> </ul> <p><b>(地域包括支援センター部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の見守りを強化することを目的に、支え合いネットワークのなかで認知症の見守りをを行っている他自治体の事例を紹介するなど、地域住民の意識を高めるための取組を行っています。</li> <li>・グループの自主化に向けた支援を行った結果、自主活動できるグループが増えています。ボランティアとの情報共有も活発に行われ、意思疎通もできています。</li> </ul>
駒岡地域 ケアプラザ	(福) 横浜鶴声会	A	<p><b>(地域ケアプラザ部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当エリアが広いため、まずは訪問し相談を受けるという姿勢で取り組んでいます。</li> </ul> <p><b>(地域活動・交流部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の居場所づくりとして「三ツ池親子ひろば」や「子育て支援まちかどサロン」、母親同士の交流の場「ままほっとる一む」等、子育て関係の事業を多く開催し、参加人数も増えています。</li> </ul> <p><b>(地域包括支援センター部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアが広いため来所しにくい地域もありますが、出来る限り訪問をするなど工夫し、相談数・訪問数とも実績が上がっています。地域の民生委員からの連絡、相談も多く地域からの情報も良く入っています。</li> <li>・ケアマネジャーからの電話、来所相談は適宜あり、丁寧に対応しています。ケアマネサロンを隔月実施し、ケアマネジャーの悩み相談ができる場をつくることで、スキル向上やケアマネジャー同士の繋がりをつくる機会になっています。</li> </ul>
鶴見市場地域 ケアプラザ	(福) 大樹	S	<p><b>(地域活動・交流部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学習支援に注力して生活困窮家庭の中学生学習支援準備会を主任児童委員等と協力して立ち上げました。</li> <li>・中学校、高校との福祉教育の充実。またイベントを通じ小中学生の活躍の場を設け、地域に愛着をもってもらうことにつながっています。</li> </ul> <p><b>(地域包括支援センター部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座を企業・中学校・高校と様々な対象に向けて実施しており、かつオープン前の商業施設にも声をかけるなど、地域の普及啓発活動に広く取り組み、良い成果をあげています。</li> <li>・ケアマネジャーに対して連絡会や会議を通じて介護予防プランの基本を伝えていきます。助言の必要なケアマネジャーには個別に対応しており、ケアマネジャーのアセスメント力向上に向けた取組を包括支援センター全体で協力しながら行っています。</li> </ul>

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
鶴見中央地域 ケアプラザ	(福) 横浜 YMCA福祉会	A	<p><b>(地域活動・交流部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みのラジオ体操には職員一丸となって取り組み、過去最高の参加人数となりました。また、普段接点のない、高齢者と子どもが触れ合う機会となり、普段挨拶をする関係に発展しました。</li> <li>若い世代の育成に力を入れ様々な取組（小中学校の福祉教育。小学校や子ども会へのアプローチによる関係構築など）を実施することができています。</li> </ul> <p><b>(地域包括支援センター部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門職による支援が必要な相談については、朝ミーティングなどを活用し、包括内での情報共有を積極的に行っています。ケアプラザの認知度が上がり、相談件数が昨年と比べて大幅に増加しています。</li> <li>包括として社会資源マップを作成しました。民生委員と一緒に住民向けの元気づくり講座を開催し参加者に好評でした。</li> </ul>
生麦地域 ケアプラザ	(福) 横浜 YMCA福祉会	A	<p><b>(地域活動・交流部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりや趣味に応じた企画など幅広く工夫をした事業を展開しています。</li> <li>ケアプラザまつりでは、利用団体を中心に声かけした結果、100名以上のボランティアが参加し前年より増加しました。ボランティア交流会や感謝会を連動させて開催することで継続した活動支援の流れを作ることができました。</li> </ul> <p><b>(地域包括支援センター部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な介入を要する相談に対しては、まず包括内での情報共有を行い、必要に応じて区とも連携しながら対応を進めています。家族の介護で支援が必要と思われる場合は、適宜ケアマネジャーに状況確認したり、可能な限り当事者と面接したりするなど丁寧に対応することができています。</li> <li>介護予防のための「みんなで楽しく盆踊り」を4会場で実施しており、元気づくりステーションとしても活動を始めています。ウォーキング教室も3月には自主化を目指しており、積極的に取り組んでいます。</li> </ul>
馬場地域 ケアプラザ	(福) 秀峰会	A	<p><b>(地域ケアプラザ部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動が活発な地区であり、定例会や行事には必ず参加し、開所1年目としての馬場ケアプラザを知ってもらう関係づくりに取り組みました。</li> </ul> <p><b>(地域活動・交流部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体操や歌声サロンなどの事業を展開し、高い人気を得ています。</li> </ul> <p><b>(地域包括支援センター部門)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報管理システムを活用し、相談についての情報整理と、職員間での情報共有ができています。民生委員から包括へ情報提供も多く入っており、対応も丁寧に行っています。相談機関として地域に受け入れられています。また、相談内容によっては、迅速な訪問も行われています。</li> <li>老人会でエンディングノート講座を開催したことがきっかけとなり、地域にエンディングノートが広まりました。ノートの配布も進んでいます。</li> </ul>